

平成24年度 研究業績

布施新一郎（東京工業大学大学院理工学研究科、A01班 公募班員）

1. 発表論文等（査読付き論文，著書，総説等の発表状況）

- (1) A one-pot, three-component coupling approach to the synthesis of α -iminocarboxamides, Masui, H.; Fuse, S.; Takahashi, T.* *Org. Lett.*, **2012**, 14 (16), 4090-4093.
- (2) A sequential coupling approach to the synthesis of nickel(II) complexes with *N*-aryl-2-amino phenolates, Fuse, S.; Tago, H.; Maitani, M. M.; Wada, Y.; Takahashi, T.* *ACS Combi. Sci.*, **2012**, 14 (10), 545-550.
- (3) An iterative approach to the synthesis of thiophene-based organic dyes, Fuse, S.; Yoshida, H.; Takahashi, T.* *Tetrahedron Lett.*, **2012**, 53, (26), 3288-3291.
- (4) Combinatorial synthesis and evaluation of α -iminocarboxamide-nickel (II) catalysts for the copolymerization of ethylene and a polar monomer, Fuse, S.; Masui, H.; Tanna, A.; Shimizu, F.; Takahashi, T.* *ACS Combi. Sci.*, **2012**, 14, (1), 17-24.
- (5) ケミカルバイオロジー，成功事例から学ぶ研究戦略，3. ケミカルバイオロジーのための化合物群合成，布施新一郎，高橋孝志，46-60, (2013). 丸善出版

2. 学会発表等（国内外の招待講演および国際会議での発表状況）

- (1) マイクロフロー合成法を駆使する高効率天然物合成
布施 新一郎，日本農芸化学会 2013 年度大会
東北大学川内北キャンパス，宮城，2013.3.27（依頼口頭発表）。
- (2) 反応系内で発生するホスゲンを用いたペプチドの効率的マイクロフロー合成法の開発
布施 新一郎，御船 悠人，高橋 孝志，日本化学会第 93 春季年会，立命館大学，びわこ・くさつキャンパス，滋賀，2013.3.23（口頭発表）。
- (3) フローマイクロリアクターを用いたビタミン D₃ 類、ペプチドの効率合成
布施 新一郎，近畿化学協会フロー・マイクロ合成研究会第 57 回研究会
かんぼの宿 福井，福井，2013.2.6（依頼口頭発表）。
- (4) マイクロフロー合成法を駆使する天然物合成，
布施 新一郎，第二回コンビナトリアル科学研究推進体セミナー：マイクロフロー合成ワークショップ，東京工業大学大岡山キャンパス，東京，2012.12.7（口頭発表）。

3. 特許

特になし。

4. 学会・シンポジウム等の開催状況

第二回コンビナトリアル科学研究推進体セミナー：マイクロフロー合成ワークショップ, 東京工業大学大岡山キャンパス, 2012.12.7 (布施新一郎, A01 班公募班員).

5. 受賞等

特になし。

6. 新聞報道等

特になし。

7. 国民との科学・技術対話

特になし。

8. 領域内の共同研究の準備・実施状況とその成果

特になし。